

# たかひこ通信

1年間お読みい  
ただきありがとうございました。来  
年もお届けします。

部内資料 たかひこ通信 No. 104  
2019/12/25 〒399-8601  
長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4  
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093  
mail : peace-ikeda@peach.plala.or.jp  
http://web-ariakesan.com/

## 町議会12月定例会での私の一般質問の概要

詳しくは、町のホームページ（議会一議会中継）をご覧ください。また、後日、池田民報で紹介します。

### 1. 高瀬川の洪水時の避難対策は。

【質問1】長野県は最大想定降雨量（746mm/48時間）に基づく高瀬川浸水想定図（以降、新想定図）を11月15日に公示した。新想定図では、高瀬川堤防の決壊などにより町平坦部の大分部は浸水し、その半分は建物一階が浸水する洪水となる。避難対策の進め方は。

【回答】新想定図に基づき洪水時の指定緊急避難場所、指定避難所を変更し、町民の皆様にお知らせする。それに基づき各家庭で時系列で避難準備・避難先を記入していただくマイ・タイムライン作成を検討する。

【質問2】新想定図に基づく町ハザードマップの早期作成を。【回答】ハザードマップの早期作成に努める。

### 2. 高瀬川の霞堤からの出水対策は。洪水防止対策は。

【質問】高瀬川の水位が上がると内鎌地区にある霞堤（写真1）などから出水し、洪水となる。町は霞堤からの出水対策について県・国と協議を。

また、高瀬川の洪水防止対策として、町は県に下記の事項の要望を。

「高瀬川での民間業者による砂利採取を認め、川の容積を拡げること」

【回答】いづれの項目も県・国と協議、要望していく。

### 3. 来年度からのハーブガーデンなどの管理は。

【質問1】ハーブガーデン・ガラス温室などは来年度から町管理となるが、これらの施設は何を目指すのか。

【回答】足を運びたくなる仕掛けをつくり、五感で感じる楽しいハーブ園を目指したい。

【質問2】施設の管理体制は。どのように管理するか。

【回答】施設の統括管理は産業振興課「花とハーブの里推進係」が担う。現状の問題点を探求し、町民の意見も聴き検討していく。

#### 【 今回の出来事から ~第33回社会福祉大会に参加して~ 】

12月8日（日）、第33回池田町社会福祉大会が交流センターで開かれました。広島出身の「ご近所福祉クリエーター」酒井保氏（写真2）が「池田町で生き・生き・元気に暮らすために～健康長寿の秘訣とは？～」と題して講演しました。酒井氏は健康長寿の秘訣として最も重要なこととして、『社会とのつながり（近所の集いなど、人との関わり）』を上げました。『つながり』を切らないうことが健康寿命を延ばし、フレイル（加齢とともに心身の活力低下）予防になると分かりやすく説明されました。私もフレイル予防のために地域とのつながりを老人クラブの活動などを通じて維持していきたいと思いました。

## 12月定例会の主な内容

### ◎令和元年度一般会計補正予算

補正額 9,961万円

★審査：意見を付け全議員の賛成で可決。

#### 【主な事業】

○鵜山地区圃場整備事業	4,900万円
・ワイン用ブドウ圃場の薬剤飛散防止用ネット（高さ4m、長さ1.5Km）設置費	
○ふるさと納税寄付金（1,400万円を積み立て廻すなど）	2,290万円
○冬季除雪事業関連	1,510万円
○インフルエンザ予防接種費	224万円
○庁舎エアコン設置設計監理費	134万円

### ◎ハーブセンター等の指定管理に関する議案

内容：ハーブセンター等の指定管理について選定委員会の選考結果どおり、（株）てる坊市場を指定管理者として議決する議案  
《町の説明》

指定管理者を公募したところ二団体から申請があり、プロポーザル方式で選考委員会審査を実施した。二団体とも合格点以上であったが、（株）てる坊市場は施設管理、地域との連携、出資計画などで他団体より優れていた。

★審査結果：本会議で多くの議員がハーブセンターの改善に向け意見を述べ、全議員の賛成で可決。私の意見は次のとおり。

- ①販売施設（道の駅）は町の農産物などの地産地消の拠点となるようにすること。
- ②レストランは「道の駅」の休憩機能も果たせるように検討すること。③農産物加工施設は加工品開発に努めること。

#### 《議会協議会での確認事項》

- ①選考委員会での審査結果の内容を広報などで町民に知らせること。
- ②町が指定管理者へのモニタリングや指導を行った際は、議会に報告すること。



写真1 内鎌地区の霞堤



写真2 酒井保氏

### 今月の短歌から

“泥水を被(かぶ)り家の女(ひと)は言ふ  
卒寿の母と家建て生きむと” 孝彦